

社会とつながり実践で学ぶ

Project Based Learning

Social System Studies

同志社女子大学 現代社会学部
社会システム学科

Faculty of Contemporary Social Studies, Department of Social System Studies

社会システム学科のプロジェクトベースラーニングの紹介



社会とつながる。
社会に羽ばたく。
社会を変える。
社会システム学科の学び。



Index

フィールドワーク	02
ゼミナール／研究会	04
ワンダフル・エイジングプロジェクト	06
富良野インターンシップ	08
グローバルラーニング	10
町家で学ぶ京都の歴史と文化	12





フィールドワーク

日本列島を歩き、人と出会う。
フィールドには発見がいっぱい。



奄美群島加計呂麻島のスリ浜の栈橋。毎年フィールドワークに訪れた何人もがここからダイブしました。

フィールドワークで訪れた北海道で、これまで見たことのないような満点の星空を見上げました。ただ現地では、その星空に負けないぐらいの人々との出会いも経験しました。



知らなかった「日本」の姿を肌で知る。

日本列島の自然環境や歴史文化は、非常に多様性に富んでいます。さまざまな場所を訪れ、そこに暮らす人々に会い、お話を聞くことで、自分が知らなかった「日本」の姿を見出すことができます。フィールドワークは、そうした学びを得るための貴重な機会となります。

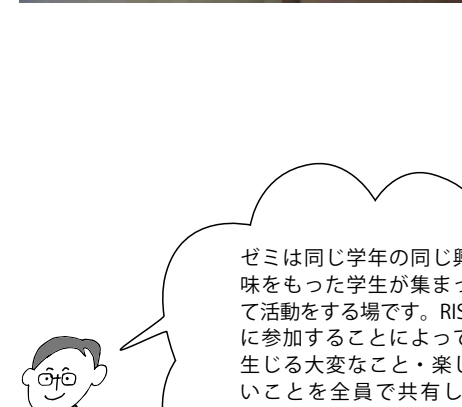


知床半島の付根に位置する標津のポー川史跡自然公園ではアイヌ系住民の方々が毎年慰霊祭を開催されています。その祭壇に捧げられる「イナウ」と呼ばれる木幣。



ゼミナール／研究会

保険学関連のゼミナールを中心としたインターカレッジでの
研究交流ゼミナール Risk & Insurance Seminar [RIS] への参加。
現実経済をより身近にかつ体験的に学ぶ経済研究会での活動。



ゼミは同じ学年の同じ興味をもった学生が集まって活動をする場です。RISに参加することによって生じる大変なこと・楽しいことを全員で共有し、それによって大きく成長する機会となっています。

Risk& Insurance Seminar [RIS] への参加で育つ力

RIS とは全国の大学における保険学関連のゼミナールを中心にインターカレッジでの研究交流を行う「場」です。そしてRIS での研究発表はこのゼミの名物(?) となっています。4月のゼミスタートとともに始まり、3月の論文集刊行まで1年間続きます。グループで研究を行うため、自分の意見を伝えたり、できた意見をまとめたりなどグループワークならではの大変さもありますが、そのような研究活動を通じて「創造力」「変化対応力」「自己表現力」を身につけ、学生同士の信頼関係も深めることができます。こうした活動がこのゼミのそして RIS 出場の魅力なのです。



経済研究会

経済研究会では、現実経済をより身近にかつ体験的に学ぶことを目的に、学外のフィールドにおいて積極的に活動を展開しています。「自分たちで決め、自分たちで活動する」ことを基礎とした学外フィールドでの学習は、楽しいことと同時に大変なこともいっぱいです。そしてこのような体験は、多くのことを学ぶとともに、社会や経済のしくみをより明瞭に実感できる機会となっています。





ワンダフル・エイジングプロジェクト

Life is short and beautiful. So just go forward!

高齢化社会をワンダフル・エイジングに生きる、人生のデザインを世代を越えて考える。



高齢社会の希望を多世代で共創する

ワンダフル・エイジングプロジェクトでは、心理・医療・福祉の多職種が連携し、ポジティブ心理学の立場からの人生デザイン（生きがい創造プログラム）の地域実践で、人生後半の豊かな生き方を支援します。プログラム修了者を対象とする、本当の学校ではない学校「ワンダフル大学院」も立ち上がりました。「65歳になったらプロフェッサーになろう！」をテーマに、伝えたいことがある人みんなが先生になり、教えあうことを通して学びのコミュニティを形成する、人生のより熟達したエキスパートをめざす新しい学校づくりが始まっています。

※ワンダフル・エイジング

目的に向かう道筋は、新たな自己に出会う驚き（ワンダー）に満ちています。ワンダフル・エイジングは、目的に向かい進みながら、可能性が広がる生涯発達の軌跡です。

人生をデザインするワンダフル・キューブ

キャリアは一度デザインしても、実際にやってみて、うまくいくことも、いかないこともあります。やってみた結果から、もう一度プランを見直して修正を加えることで、より目標に近づきやすくなるのです。強い意志と、柔軟な検討で、実行と修正を繰り返しながら、「こうありたい」という自分に近づいていきましょう。



Wonderful Cube (特許第 5938070 号)

多層立体の構造により、人生をデザインする概念を五感を通じて体験するツールです。プロジェクトの取り組みの中で、教員、学生、企業が連携して開発された教材です。



富良野インターンシップ

自然環境、観光振興、農牧業、高齢化社会における地域中心市街地活性化を学ぶ。
さまざまな問題を地域に根ざし、地域の人と共に考える。

持続可能な社会づくりを 地域の人々と共に考える

観光やまちづくりにおいて先駆的な地域である、富良野。このプログラムでは、長期間にわたる連携を背景として、ラベンダーやドラマの舞台として知られる富良野地域がどのように形成されてきたのか、自然環境や観光振興、農牧業の実態と高齢化社会における中心市街地活性化など、さまざまな地域問題を考えながら、これからの持続的な社会に向けての可能性を地域の人々とともに考えていきます。

北海道の富良野を訪れて、ラベンダーにとどまらない北海道の魅力を感じることができました。風景や食べ物はもちろんのこと、地域の人々との温かい交流ができたのも貴重な経験です。



農業体験から生産・加工・流通の実態を学ぶ。



東大演習林 大麓山山頂にて。



将来の富良野の地域像について女子大生の視点から意見を交換し合う。



牧畜業の実態と課題の学習。



グローバルラーニング 国際社会を視野に入れた世界レベルでの 問題解決能力の育成



ASIA COMMUNITY ENGAGEMENT Student Conference (ACE)



国連が取り上げる問題を 英語で議論

日本大学英語模擬国連大会に参加。世界中から集まった参加者は国連加盟国の代表者となり、国連が取り上げる問題について議論しながら解決策を探ります。学生たちは国際情勢に関する知識や理解を深め、日本のみならず世界中の学生と交流を深めることができ、国際的な視野を広げることができます。



英語で取り組む PBL

グローバルビジネスおよび地域社会参画について、各学生の専門分野の視点から考えるプロジェクト・ベース・ラーニング (PBL) ワークショップに参加。学生はチームに分かれて、協力企業より与えられたテーマに沿って問題提起し、解決に向けた議論を交わしました。



町家で学ぶ 京都の歴史と文化

築 100 年の京町家を舞台に活きた
京都の歴史・文化に触れる。



京町家の様子。講演を聞きに遠方から来られる方も。

京都の歴史・文化に触れる 重層的な京都学

いにしへの京の中心に位置する、
築 100 年の京町家を舞台として、
京都に関わるさまざまな分野の
方々をお招きし、ともに京都のあ
り方を考えていくプログラム。大
学の講義では聴くことのできない
職人さんや伝統芸能に関わる方々
から膝を交えてお話を伺い、活
きた京都の歴史・文化に触れなが
ら、幾重にも織りなす重層的な京
都学について学ぶことを目的とし
ています。

京町家といっても、はやりの町家カ
フェとはまったく違う、本物の町家で
学ぶ貴重な機会でした。格子戸の一步
奥にある京の息遣いを感じられるこ
とが大きな魅力です。



毎回お茶とともにいただく京生菓子。



町家以外の会場で行うことも。写真は京都鴨川沿いの納涼床にて。



京野菜の生産を通じた地域再生のありかた。

